



三氣の門 PORTAL SANKI

NO.38

2026.2.18

文責：佐藤正一

保見中学校は注目される有名な学校なのです！

～日本全国・世界からも視察に訪れる中学校～

自慢にしか聞こえないですが、あえて言います。「保見中学校は全国から注目される教育先進校です！」。大げさなと思われるかもしれません。全国、いや世界レベルというのは言い過ぎでしょうが、保見中の教育システムを参考にしようと、あらゆるところから視察、研究、取材が殺到しているのは事実です。

今年だけでも横浜市、神戸市、佐賀県、兵庫県、静岡県…と各地の教育委員会や学校。愛知県内でも西尾市、岩倉市。グアム日本人学校の経営者からも「保見の教育を参考にしたい」と視察に来ました。昨年度はイギリスのロンドン大学の教授もわざわざ保見中の視察に来たくらいです。今年度の豊田市中学校海外派遣でイギリス団がロンドン大学を見学できたのも、保見中の紹介があったからなのです。こんな学校は豊田市にある28校の中学校の中でも唯一です。

学校 자체も落ち着いており、生徒は真剣に取り組み、問題行動を起こすことなく、昔のイメージで「保見中？」なんて思っていると驚くことになります。

視察に来ている人に私が話すことは、1つは外国人児童生徒教育のノウハウですが、もう一つは「日本人生徒の学力向上」です。私はこの学校に来て、日本人生徒への指導が外国籍生徒に比べて、おざなりになっているのではないかという声に応えようと様々な改革を通して成果を上げてきました。もちろん、歴代校長も力を入れてきましたが、目に見える成果を上げることでそういう要求に応えています。



実際に外国籍生徒の数で「加配」という仕組みがあります。なんと他校の同じ規模の学校よりも14～15人多く教員が配置されているのです。この利点を生かして「英語」と「数学」の先生を増やし、少人数指導できめ細やかに教える授業をやってきました。その成果が出て、日本人生徒だけなら市内TOPの学校に迫る成績を出しています。そういう取り組みも参考にしてもらっています。